

2007年度 松山大学経営学部 情報コース特殊講義

Web

Webデザイン論

Design

第23回 JavaScript (3)

講師 檀 裕也

<http://www.cc.matsuyama-u.ac.jp/~dan/web/>

出席確認

- 出席確認フォームからデータを送信する
 - 学籍番号（半角数字8桁）
 - 氏名
 - コメント
 - マイデジタルコンテストに関する
 - ・ ホームページタイトル
 - ・ URL

今回の予定

- JavaScript (3)
 - 実践 Tips

サンプル (1)

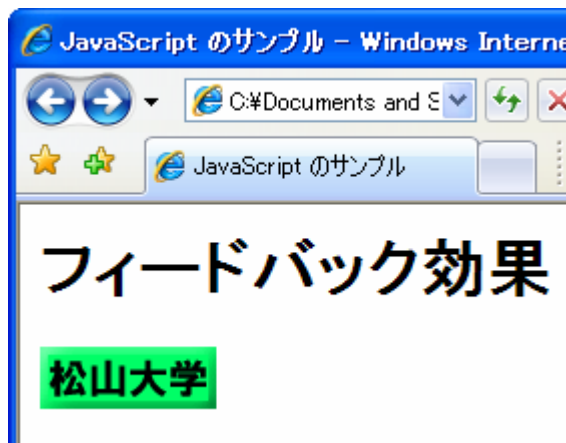
```
<html>
<head>
<title>JavaScript のサンプル</title>
<meta http-equiv="Content-Script-Type" content="text/javascript">
</head>
<body>
<h1>フィードバック効果</h1>
<a href="http://www.matsuyama-u.ac.jp/">
</a>
</body>
</html>
```

js_button.html

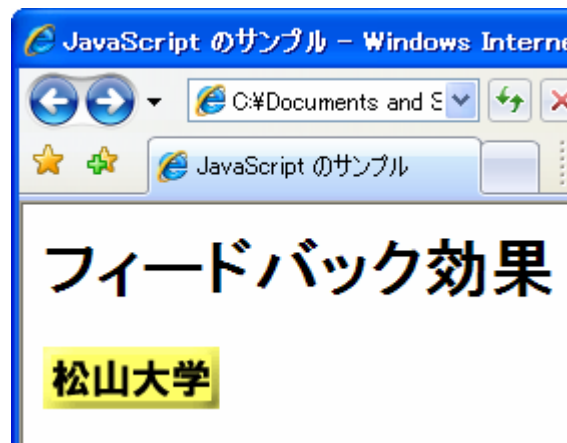
フィードバック効果

- ユーザの操作に応じて画面表示を変化させる
 - 現実のボタンと同じように画面上で動作する
 - ユーザは感覚的に操作できる

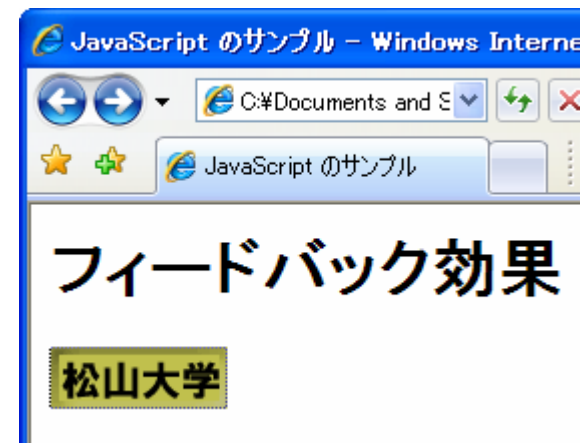
通常が表示



ロールオーバー



クリック



ソースコードの解説

- 画像を表示する

- ``

- イベントハンドラ

- マウス操作に応じて呼び出される

- `onMouseOver="this.src='mu02.gif'"`

上にある

- `onMouseOut="this.src='mu01.gif'"`

離れる

- `onMouseDown="this.src='mu03.gif'"`

押す

- `onMouseUp="this.src='mu02.gif'"`

離す

CSSのインライン設定

- 要素のstyle属性を使ってスタイルを設定する
 - style="border: none"
境界線なし
 - <p style="color: red">赤い文字<p>
赤い文字

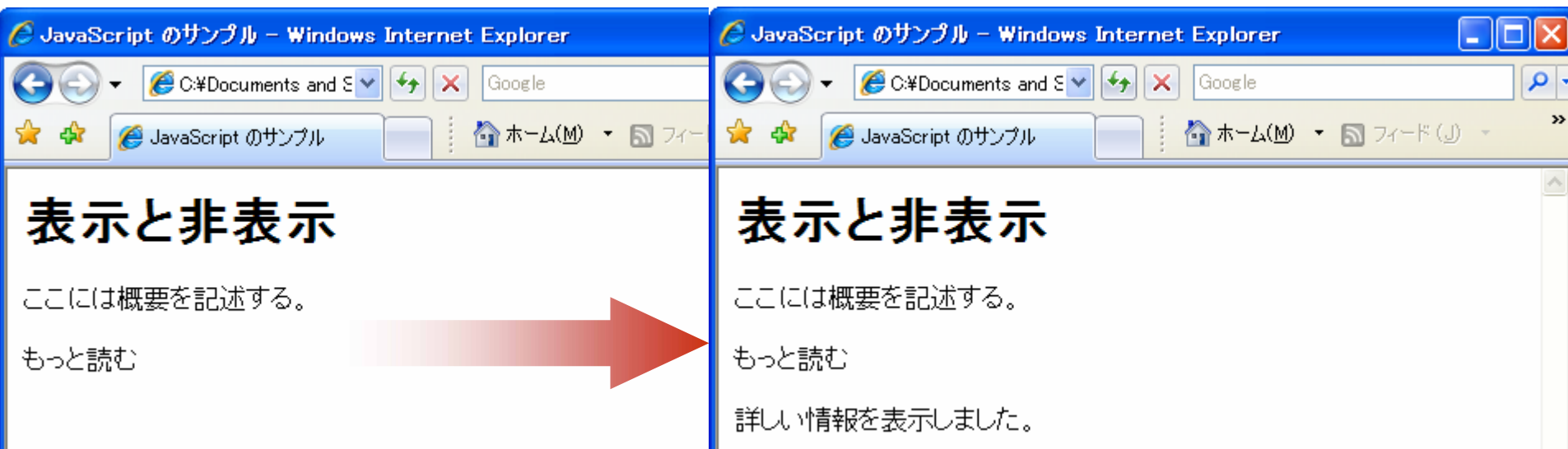
サンプル (2)

```
<html>
<head>
<title>JavaScript のサンプル</title>
<meta http-equiv="Content-Script-Type" content="text/javascript">
</head>
<body>
<h1>表示と非表示</h1>
<div>
<p>ここには概要を記述する。 </p>
<p onMouseDown="detail.style.visibility='visible'">もっと読む</p>
</div>
<div id="detail" style="visibility: hidden">
<p>詳しい情報を表示しました。 </p>
</div>
</body>
</html>
```

js_visible.html

表示例

- 「もっと読む」のところをクリックすると、詳しい情報が表示される



解説

- visibility
 - CSSのプロパティ
 - 値は **visible / hidden** を設定する

```
<div id="detail" style="visibility: hidden">
```

```
コンテンツ
```

```
</div>
```

```
onMouseDown="detail.style.visibility='visible'"
```

サンプル (3) 全体

```
<html>
<head>
<title>JavaScript のサンプル</title>
<script type="text/javascript">
<!--
```

スクリプトは次のページに掲載

```
//-->
</script>
</head>
<body style="filter:alpha(opacity=0)">
<h1>フェードイン効果</h1>
<p>ここには概要があります。</p>

</body>
</html>
```

js_fade.html

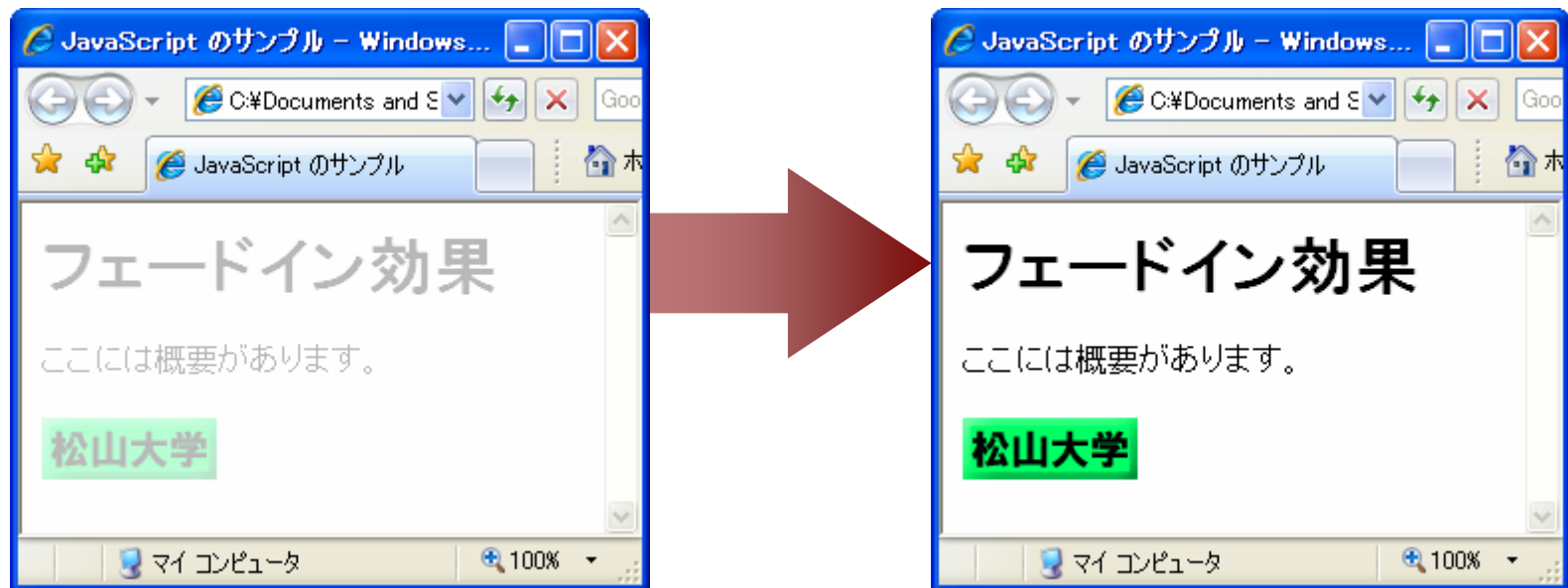
サンプル (3) スクリプト部分

```
<script type="text/javascript">
<!--
  var ID = setInterval( 'f()', 20 );
  function f(){
    if( document.body.filters.alpha.opacity < 100 ){
      document.body.filters.alpha.opacity++;
    }
    else{
      clearInterval( ID );
    }
  }
  //-->
</script>
```

js_fade.html

表示例

- JavaScript でフェードイン効果を実現する
– 時間の経過とともに画面が表示される



ただし、Internet Explorer にしか対応していない

今回の課題

マイデジタルコンテスト

- Webサイトのコンテスト
 - 作品テーマ
 - ユビキタス(だれでも、いつでも、どこでも)
 - 愛媛の旅行記
 - 松山の観光めぐり
 - 家族紹介のホームページ など
 - 応募締切: 2007年7月3日(火)
 - 詳しくは…

<https://www.secures.jp/cgi-bin/itfair2007/>

次回予定

- CGI (1)
 - Common Gateway Interface とは？
 - Perl の基本文法